

平成 21 年 10 月 22 日

資料提供先：倉吉記者クラブ

湯梨浜町総合防災訓練に演習として

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)隊員を派遣します。

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたもので今年7月に発生した中国・九州北部豪雨災害においても、山口県の要請により防府市等へ派遣しています。

日 時：平成 21 年 10 月 29 日（木）10:00～12:00

派遣場所：湯梨浜町役場 及び 「新川キャンピングセンター」湯梨浜町長瀬地先

【今回の実施内容】

湯梨浜町総合防災訓練に対し、国土交通省倉吉河川国道事務所は当日以下の内容での参加を予定しています。

- ① 湯梨浜町災害対策本部へ**国土交通省職員を派遣**します。 ※詳細は別紙①
【国土交通省職員総勢8名：(現地5名、役場3名)】
- ② 現地訓練の状況を国土交通省の衛星回線を通じて湯梨浜町役場に**映像配信**します。 ※詳細は別紙②
- ③ **災害対策機械**（災害対策本部車・照明車）の派遣 ※詳細は別紙③

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所 TEL (0858) 26-6221(代)

副所長(河川) 大池勝則 (おおいけかつのり)

調査設計第一課長 菅野秀治 (すがのひではる)

別紙①

●湯梨浜町災害対策本部へ国土交通省職員を派遣

倉吉河川国道事務所職員総勢 8 名を現地と役場に派遣し以下の作業を行います。

【現地】（湯梨浜町はわい長瀬地先「新川キャンプセンター」）

災害対策機械（災害対策本部車及び照明車）の設営（3名）

衛星画像送信（可搬型衛星小型画像伝送装置（Ku-SAT））（2名）

【湯梨浜町役場】

現地対策本部の情報収集及び情報提供（1名）

衛星画像受信（可搬型衛星小型画像伝送装置（Ku-SAT））及び配信（2名）

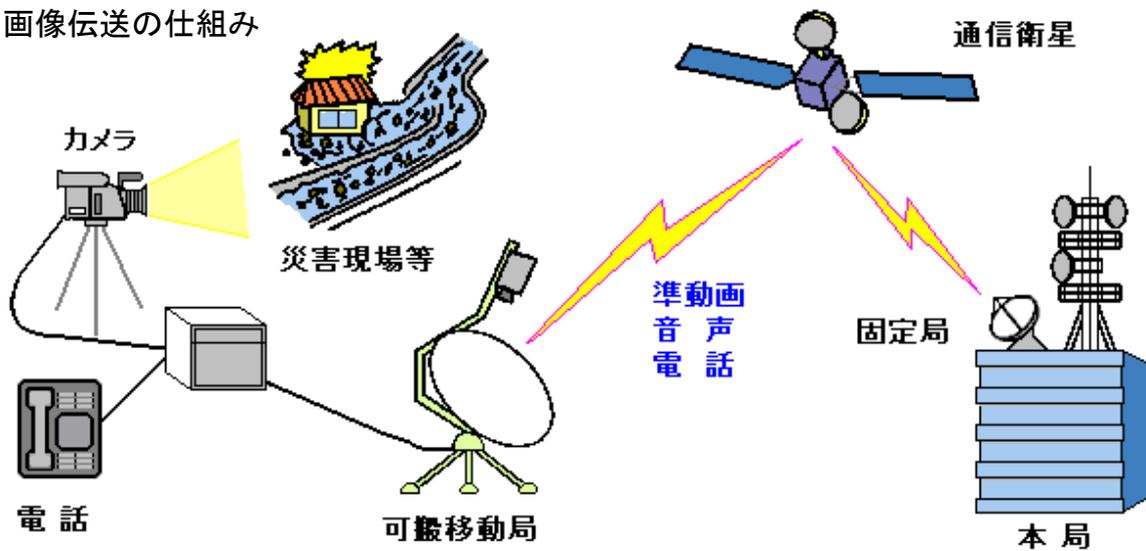


別紙②

●現地の避難の状況を国土交通省の衛星回線を通じて湯梨浜町役場に映像を配信

今回の訓練では、鳥取県沖を震源とした（震度6強、M8）地震を想定されており、国土交通省においても鳥取又は米子からの機材の搬入が遅れることを想定し、倉吉河川国道事務所が保有している可搬型衛星小型画像伝送装置（Ku-SAT）と広域的支援の観点から岡山県鏡野町に配備している可搬型衛星小型画像伝送装置（Ku-SAT）の計2台を使用し、現地の避難状況を衛星回線を通じて湯梨浜町災害対策本部にリアルタイムの映像を配信することとしています。

画像伝送の仕組み



Ku-SAT の設置イメージ

別紙③

●災害対策機械(災害対策本部車・照明車)の派遣

倉吉河川国道事務所は、災害対策本部車及び照明車を湯梨浜町新川地先にある「新川キャンピングセンター」に設営します。また、訓練に参加されている地域の皆様等に、災害対策本部車の中の状況などを実際に見て頂くこととしています。

当日派遣する災害対策機械のイメージ

★対策本部車（車体拡張型）

災害などが発生した場合速やかに現地に急行し、現地における対策本部として会議室や宿泊所などに使用でき、車内には台所用品、トイレ、シャワー室等の他、各種の通信設備が装備されています。



★照 明 車

災害が発生した場合、速やかに現地に急行し、現地における復旧作業等の夜間照明をはじめ、危険箇所を監視します。



【参考】中国地方整備局では、管内（中国地方 5 県）における台風、地震、豪雨、豪雪などあらゆる災害が発生、または発生する恐れがある場合において、現地対策本部としての応急対策の指揮、情報収集及び連絡体制、広報活動等を含めた初動体制を速やかに行えるように、倉吉河川国道事務所と中国技術事務所（広島市）に災害対策用機械基地を設置し、災害対策用の機械を配備しています。

平成21年度湯梨浜町総合防災訓練概要

- 1 目的 この総合防災訓練は、大規模大地震（鳥取県沖を震源として、震度6強、M8）等に対する一般住民の自主的避難訓練の実施と、新川地区、野方地区、石脇地区住民と消防関係者、国土交通省等の連携作業による総合防災訓練の実施により、自然災害に対し、どの程度対処できるか現有能力を確認することと、町民の防災意識の高揚及び消防関係者等の災害対応能力の向上を図ること等を目的として実施する。
- 2 日時 平成21年10月29日（木）午前10時00分～12時30分
- 3 場所
 - 1）町内全域（各事業所等で避難訓練等）
 - 2）新川地区（総合防災訓練、国土交通省との合同訓練）
野方地区（総合防災訓練）
石脇地区（総合防災訓練）
- 4 災害の種類 地震（これに伴う天神川漏水、火災及び土砂崩れ）
- 5 参加者（予定）
 - 1）全町民
 - 2）新川区、野方地区、石脇地区住民（発災時の地区住民全員）、公設消防団、消防署、役場職員、建設協議会、日赤ボランティア、社協、交通指導員、警察、アマチュア無線連絡会、JA中央サービス等
- 6 被害想定
 - 1）①火災 ②土砂崩れ ③天神川漏水 ④水道の断水 ⑤停電
⑥電話不通
- 7 訓練内容
 - 1）町内全域
 - ①避難訓練（各保育所・幼稚園、小中学校、各事業所、各家庭）
避難場所への避難（発災時の社員全員、家族全員）
・避難場所、避難経路等は、各事業所等で設定の上実施する。
 - ②その他訓練（各事業所、各家庭）
・その他の訓練は、必要があれば各事業所等で計画し、実施する。
 - 2）指定地区（新川区、野方区、石脇地区）
（新川地区）避難所 新川キャンピングセンター

- ①避難訓練
- ②安否確認訓練
- ③災害時要援護者避難支援訓練
- ④避難所開設訓練
- ⑤現地対策本部設置訓練
- ⑥堤防復旧訓練（土嚢作り、月の輪工法）
- ⑦LP ガス等点検・復旧訓練
- ⑧給水訓練
- ⑨救急搬送訓練
- ⑩国土交通省の通信訓練及び機械展示（別紙計画書）
- ⑪防災研修（LP ガス研修）
- ⑫炊出し訓練
- ⑬情報伝達訓練（防災無線（拡声器）、消防無線、アマチュア無線）

（石脇地区）町営住宅前広場→避難所 つわぶき荘

- ①避難訓練
- ②安否確認訓練
- ③災害時要援護者避難支援訓練
- ④避難所開設訓練
- ⑤避難民輸送訓練
- ⑥給水訓練
- ⑦防災研修（救命救急講習）
- ⑧炊出し訓練
- ⑨情報伝達訓練（防災無線（拡声器）、アマチュア無線）

（野方地区）避難所 舎人会館

- ①避難訓練
- ②安否確認訓練
- ③災害時要援護者避難支援訓練
- ④避難所開設訓練
- ⑤消火訓練
- ⑥給水訓練
- ⑦防災研修（起震車、煙体験、水消火訓練）
- ⑧炊出し訓練
- ⑨情報伝達訓練（防災無線（拡声器）、防災電話、消防無線）

「講評」時間：12：00～

場所：各避難所